

銀箔窯変柿色ワイングラス、銀箔窯変柿色片口

2008かごしまの新特産品コンクール(社)鹿児島県特産品協会理事賞



鮮やかな朱色が漆器を思わせるワイングラスと片口。独特の質感が和の輝きを放つこの作品を生み出したガラス作家平泉秀博さんを、薩摩川内市の山あいにある工房に訪ねました。

和紙のような質感が魅力ですね。

今までガラスというと、自分の中では「洋」のイメージだったので、今回はあえて「和」を表現してみようと思いました。透明、赤、白のガラスを重ね、さらにその上に銀箔を重ねて、独特の色合いと質感を出してみました。不透明にすることで「和」的な美しさを出すことができましたと思います。

赤色が一定にならなかつたり、形が思うようにならなかつたり、この色と形を作るのに相当試行錯誤しましたね。



ワイングラス:5,250円 片口:8,400円
平泉秀博(ガラススタジオオーゲー)
〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵1940-2
電話:0996-42-1925



「一瞬で形が変わってしまうので気が抜けません」と真剣に成形する平泉秀博さん。

北海道で出身ということですが、鹿児島での作品作りはどうですか。

北海道では小樽のガラス工芸が有名ですが、スウェーデンで2年ほど研修をしたこともあり、ガラスという「北」というイメージを持っていました。13年ほど前に妻の故郷・鹿児島に移住しましたが、最初は暑くて作業が大変でした。窯は1000度以上になりますからね。

鹿児島には長い歴史や時間の積み重ね、偉大な功績を残した先人を多く輩出した風土の重みを感じます。そして南国の強い光。創作をするには刺激的な場所ですね。最近はそのようなところでガラスを作るのもおもしろいかなあと思い始めています。

作品作りのコンセプトは？これらどんな作品をつくっていききたいですか？

ベネチアやボヘミアのガラスのような豪華で高級なガラス器ではなく、シンプルで美しい、生活の中でこそ生きるガラス器を作りたいと思います。スウェーデンのガラスがまさにそういうものでした。

それと、日本の光、風土、生活に溶け込むような作品を作りたいですね。例えば、たたみ、障子になじむガラスを見つけ出せればいいと思っています。

「ガラスが溶ける様子を初めて見たとき、とても神秘的で、心を動かされ、この道に入りました。もう30年くらいたちますが、これだというものを作るにはまだまだです」と語る平泉さん。工房には丹念に作られたグラスや皿、花瓶などやわらかいフォルムとさわやかな色合いの作品が並びます。やさしい光を集めるガラス器は日々の暮らしを和ませてくれるそうです。

News
平泉さんの作品が出品されます。
鹿児島島のガラス作家5人展
期間 3月8日(日)～22日(日)
場所 和紙ギャラリー(蒲生町)

PRESENTS プレゼントコーナー

泡入りグラスを3名様にプレゼント。

締め切り 平成21年4月30日(木)



- 応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥職業、⑦電話番号を記入の上、下記までお送りください。
●はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」
●F A X 099(286)2119(件名は「グラフかごしまプレゼント」)
●メールアドレス h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp(件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

かごしま新茶フェア

平成21年4月上旬

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は
鹿児島ブランドショップへ
鹿児島県特産品協会
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館内
☎099-225-6120 FAX099-223-0755
店休日 年末・年始 ●営業時間 午前9時～午後6時
東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル3階
☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172
ホームページURL <http://www.k-p-a.jp>

